

クイックガイド

消費電力 1000W

初版

安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示内容を見逃して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は「死亡または重症を負う恐れがある」内容です。

注意 この表示の欄は、「軽症、物的損害、故障が生じる恐れがある」内容です。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に本ガイドとWEB取扱説明書を必ずお読みください。ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

詳細は
WEB 取説を
ご覧ください



ハイガー株式会社はSDGs・カーボンニュートラルの取組の一環として、紙の取扱説明書を大幅に削減いたしました。どうぞご理解ください。



日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

警告（製品に係る安全事項）

 禁止	<p>本製品は、業務用掃除機です。掃除機以外の用途で使用しないでください。</p> <p>交流100V以外は使用しないでください。</p> <p>改造、分解は絶対に行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、弊社の保証サービスは一切受けられなくなります。</p> <p>濡れた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。感電の恐れがあります。</p> <p>揮発性可燃物、腐蝕ガスのある場所では使用しないでください。</p> <p>操作中は、子供を近づけないでください。操作者以外、本製品へ近づけないでください。怪我の恐れがあります。</p> <p>ブロー使用時ノズルを人や動物に向けて吹かないでください。</p>	 強制
		<p>電源は、必ず交流単相100V、定格15Aのコンセントを使用してください。</p> <p>使用しないとき、お手入れ、点検時は、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。</p> <p>電源プラグの抜き差しは、プラグを持って行ってください。</p> <p>電源プラグはコンセントの奥まで確実に挿入してください。</p> <p>使用前に部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。</p> <p>使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。</p> <p>破損した部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故や怪我の原因になることがあります。</p>

⚠警告（製品に係る安全事項）

 禁止	身体の調子が悪いときは、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。	 強制	可動部分の位置および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他動作に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
	電源プラグ先端の金属部分が変形するような負荷をかける使用はしないでください。プラグ内部の発熱による出火の原因になります。		
	電源プラグ先端の金属部分が変形したものは使用しないでください。また、変形したプラグを無理やり元に戻さないでください。プラグ内部の発熱による出火の原因になります。		

⚠注意（製品に係る安全事項）

 禁止	本製品に乗ったり、寄りかかったりしないでください。	 強制	本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み、理解したうえで正しく取扱ってください。
	幼児の手の届く範囲では使用しないでください。		作業に適した服装を心がけてください。
	子どもに遊ばせないでください。		子供の手の届かない安全で、乾燥した場所に保管してください。
	屋外では使用しないでください。		部品交換は、純正部品を使用してください。
	風呂場など濡れている場所では使用しないでください。		定期点検整備を行ってください。
	周囲温度が、40℃以上になる場所では使用しないでください。		
	掃除機全体を水に入れたり、水をかけたりしないでください。		
	本体を落下させたり、過度の衝撃を与えないでください。		
	お手入れは、強酸性、強アルカリ性の薬剤やシンナー、ガソリン、ベンジン等は絶対に使用しないでください。		

⚠ 警告（作業に係る安全事項）

 禁止	<p>人体に向けて使用しないでください。</p>	 強制	<p>本製品を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況などを十分注意して慎重に作業してください。</p>	
	<p>引火性の液体（灯油、ガソリン、シンナーなど）、ガスなどを吸引しないでください。</p>			<p>汚染された可能性のある場所で使用する場合は、マスクなどの適切な防護服を身に着けてください。</p>
	<p>油煙や湯気を吸引しないでください。</p>			
	<p>火気に近づけないでください。</p>			
	<p>火のついたタバコの吸い殻、線香などの近くで使用しないでください。</p>			
	<p>熱湯、薬液などは吸引しないでください。</p>			
	<p>絨毯洗浄剤など、泡状や液状のものは吸引しないでください。</p>			
	<p>雨や水に濡れる場所では、使用しないでください。</p>			
<p>操作中は、子供を近づけないでください。作業以外、本製品へ近づけないでください。怪我の恐れがあります。</p>				

⚠ 注意（作業に係る安全事項）

 禁止	<p>ガラス、鉄、その他の鋭い異物等危険物を吸引しないでください。フィルタなどに損傷を与えます。</p>	 強制	<p>フィルタは必ず取付けて使用してください。</p>
	<p>粘着物の吸入はしないでください。</p>		<p>吸引するゴミに適合したフィルタを使用してください。</p>
	<p>壊れたフィルタは使用しないでください。</p>		<p>オイルを含む汚水を吸引した場合は、定期的にタンクの汚水を捨てて洗浄してください。</p>
	<p>排気口をふさがないでください。</p>		<p>ホースが破損しているときは使用を続けしないでください。</p>
	<p>排気口から出る風を長時間体に当てないでください。</p>		<p>本体を誤って落下させたり、ぶつけたときは、破損や亀裂、変形がないか確認してください。</p>
	<p>高温多湿の場所で使用しないでください。</p>		<p>本製品を収納する場所は、直射日光や風雨の当たらない所で保管してください。</p>
			<p>掃除を終了したらコンセントから電源プラグを外してください。</p>

本製品の使用方法やお手入れについて



- ① 埃が溜まった状態で使用を続けると、吸引の効率が悪くなります。そして製品に過剰な負荷がかかり、破損や火災の原因になります。



タンク内を定期的に掃除してください。
(目安は一週間～一ヶ月に一回程度になります。)

- ② 電源コードが絡まったり折れ曲がった状態で使用を続けると過剰な電圧がかかり、破損や火災の原因になります。



**電源コードを折り曲げずに
ほどいた状態で使用してください。**

※タンクを上部から見たところ



- ③ プラグを抜くとき 電源コードを引っ張ったり、使用時に コードが引っ張られると、プラグが 変形して、破損や火災の原因になります。



**プラグを抜くときは、コードを持たず、
プラグの根本を持ってください。
また本体で引っ張らないよう注意してください。**

各部の名称

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。



梱包部品一覧

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、全てのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください。
2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。不足している場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。

警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

A. 本体・筒型フィルタ	B. ホース	C. フロアノズル
		
D. ツル口ノズル	E. ブラシノズル	
		
F. 延長パイプ	G. 面ファスナー※1	H. ダストバッグ
		
		I. フォームフィルタ
		

※付属品の一部は、タンク内に同梱または取付いています。

※予告なく仕様変更になる場合があります。

※1 面ファスナーは電源コードをまとめるのにお使いください。

主要諸元

	HG15	HG20
モデル名/型番		
真空度	17kPa	
定格消費電力	1000W	
電圧	100V	
周波数	50Hz/60Hz	
吸込仕事率	150W	
吸水容量	6L	11L
タンク容量	15L	20L
騒音値	82dB	
コード長さ	10m	
ホースの長さ	約2.3m	
IEC規格	IPX4 (防水性能)	
連続使用時間	20分 (推奨)	
重量	本体4.6kg 総重量5.7kg	本体5.2kg 総重量6.3kg
本体サイズ (W×D×H)	355mm×355mm ×450mm	360mm×360mm ×500mm



◎弊社は、顧客満足度100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

組立て

キャスターの取付け

- 1 左右のラッチを解除し、上部カバーを取外します。



- 2 キャスターが外れた場合は、本体を裏返しにし、底部の取付穴に、キャスターを挿込みます。



⚠注意

本体を裏返しにするときは、床に傷がつかないようにタオルなどを敷いて保護してください。

ダストバッグの取付け

- 1 左右のラッチを解除し、上部カバーを取外します。



- 2 タンク内側の接続部にダストバッグを取付けます。このとき、奥までしっかり挿込みます。



⚠注意

取付けが甘いとう吸引時に外れ、モーター内に粉塵が入り込み故障の原因になります。

- 3 上部カバーを取付け、ラッチをロックします。



⚠注意

- 上部カバーは確実に閉めてください。空気が漏れると吸引力が落ちます。
- 上部カバー内側やタンクエッジにゴミやホコリが付着したままで閉めると、タンクとの間に隙間ができ、吸引力が落ちます。



ホースの取付け

- 1 前面のホース挿入口の凹部と、ホースジョイントの凸部を合わせ、奥まで挿込みます。

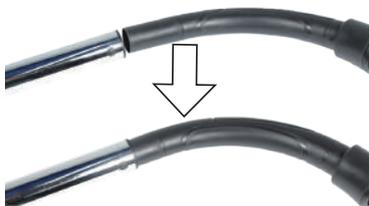


- 2** ロックするまで時計回りに回します。

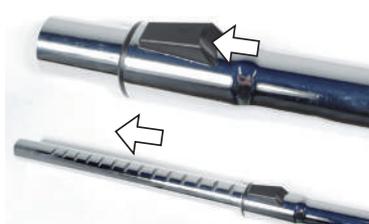


延長パイプの取付け

- 1** ホースの先端に延長パイプをねじ込みます。



- 2** 延長パイプのレバーを矢印の方向に押しながらパイプを引っ張ると伸ばすことができます。



ノズルの取付け

広い面の清掃やガラスの水
滴除去などには、延長パイ
プの先端にフロアノズルを取
付けます。



溝などを清掃するときは、延
長パイプの先端にツル口ノ
ズルを取付けます。



頑固な汚れを除去するとき
は、延長パイプの先端にブラ
シノズルを取付けます。



取扱い（乾式）

⚠ 警告

電源はまだ入れないでください。

⚠ 注意

- 乾式で使用する場合で、ダストバッグを使用しない場合は、筒型フィルタを必ず取付けてください。
- 快適に作業を行っていただくため、フォームフィルタはこまめに清掃を行ってください。（毎作業ごとに行ってください。）

ダストバッグを使用する場合

乾いた粉塵などを吸引する場合は、ダストバッグを使用します。

- 1** 筒型フィルタを外します。



- 2** フォームフィルタがモーターヘッド部裏側にあるカゴに確実にかぶせてあるか確認し、ズレていたらしっかりかぶせます。



- 3** web取説の組立て「ダストバッグの取付け」の要領でダストバッグを取付けます。

- 4** 上カバーをタンクに乗せ、位置を合わせたらラッチをロックします。



- 5** web取説の組立て「ホースの取付け」の要領でホースを取付けます。

ダストバッグを使用しない場合

乾いた比較的大粒なゴミや枯れ葉を吸引する場合は、ダストバッグを取外して使用します。

⚠ 警告

ダストバッグを取外した状態で粉塵を吸引すると、粉塵がフィルタを通り抜け、モーター内部に入り込み、分解しないと取除けなくなるだけでなく故障の原因になります。

- 1** ダストバッグは、取付けません。



- 2** 筒型フィルタを取付けます。



- 3** 上カバーをタンクに乗せ、位置を合わせたらラッチをロックします。

- 4** web取説の組立て「ホースの取付け」の要領でホースを取付けます。

⚠ 警告

電源はまだ入れないでください。

⚠ 注意

- ・湿式で使用する場合は、ダストバッグを必ず取外してください。
- ・フォームフィルタは、必ず取付けてください。
- ・快適に作業を行っていただくためフォームフィルタはこまめに清掃を行ってください。（毎作業ごとに行ってください。）

ダストバッグを取外す

濡れたゴミや液体を吸引します。

- 1** 基本的には、乾式と同じですが、ダストバッグは必ず取外してください。



- 2** フォームフィルタがモーターヘッド部裏側にあるカゴにしっかりかぶせます。



👉ポイント

タンク内の水・汚水はこまめに捨てる

タンク内が水・汚水で一杯（HG15 は約12L、HG20 は約17L）になると、フロートが作動して吸引ができなくなります。

吸引しなくなったら、ただちにスイッチを切り、タンク内の水・汚水を捨ててください。



取扱い（ブロー）

⚠ 警告

電源はまだ入れないでください。

⚠ 注意

吹き飛ばす力が弱くなるため、ダストバッグを取外してください。

ダストバッグを取外す

枯れ葉などを集めたり飛ばしたりします。

- 1** ダストバッグは、取付けません。



- 2** 筒型フィルタを取付けます。



- 3 上カバーをタンクに乗せ、位置を合わせたらラッチをロックします。

ホースの取付け

- 1 背面のホース挿入口の凹部とホースジョイントの凸部を合わせ奥まで挿込みします。



- 2 ロックするまで時計回りに回します。



延長パイプの取付け

web取説の組立て「延長パイプの取付け」参照

運転操作の仕方

警告

- 運転を開始する前に、この取扱説明書をよくお読みになり、構造、性能、操作方法をご確認ください。
- 濡れた手で電源プラグやスイッチに触れないようにしてください。
- 電源コードに傷や変形が無いこと、プラグの挿込みにゆるみが無いことを確認してください。
- 水のかかる場所では使用しないでください。
- 不安定な場所では使用しないでください。

清掃作業を開始する

- 1 電源スイッチが「OFF」になっていることを確かめ、電源プラグをコンセントに挿込みます。

注意

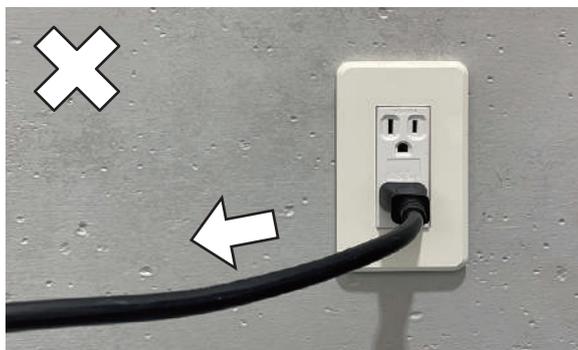
電源は直接コンセントから取ってください。延長コードは使用しないでください。

- 2 スイッチをON「I」にして清掃を開始します。



警告

- 電源プラグ先端の金属部分が変形するような負荷をかける使用はしないでください。プラグ内部の発熱による出火の原因になります。
- 電源プラグ先端の金属部分が変形したものは使用しないでください。また、変形したプラグを無理やり元に戻さないでください。プラグ内部の発熱による出火の原因になります。



清掃作業を終了する

- 1 スイッチをOFF「O」にします。



- 2 電源スイッチが「OFF」になっていることを確かめ、電源プラグをコンセントから抜きます。

●乾式として使用した場合

- 1 前側のホース挿入口からホースを取外します。
- 2 タンク内のダストバッグを取外し、ゴミ・チリ等を捨てます。
- 3 使い終わりましたら、毎回お手入れをしてください。(web取説のお手入れ・点検の仕方参照)

●湿式として使用した場合

- 1 前側のホース挿入口からホースを取外します。

- 2** 上部カバーを外し、タンク内の汚水を捨て、水洗いします。



- 3** ホース、延長パイプ、ノズルの内部を水洗いします。

- 4** 使い終わりましたら、毎回お手入れをしてください。
(web取説のお手入れ・点検の仕方参照)

お手入れ・点検の仕方

⚠警告

お手入れ・点検する場合は、必ずスイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意

- フィルタを洗った場合は、よく乾燥させてください。カビの発生の原因になります。
- 破れたダストバッグやフィルタを使用しないでください。故障の原因になります。

ダストバッグ

- 1** ダストバッグがいっぱいになったら交換します。満タンのまま使用されると、吸引力が落ちます。



フォームフィルタ

定期的なフィルタの掃除をしてください。目詰まりしたままで使用されると、吸引力が落ちます。

- 1** フォームフィルタを外します。



- 2** 汚れがひどい場合は、水かぬるま湯で洗い流してください。

筒型フィルタ

定期的なフィルタの掃除をしてください。目詰まりしたままで使用されると、吸引力が落ちます。

- 1** シートフィルタ、筒型フィルタを外します。



- 2** 汚れがひどい場合は、水かぬるま湯で洗い流してください。



⚠警告

ガソリン、シンナー、ベンジン、掃除用スプレーなどをかけてお手入れはしないでください。

タンク

水を入れて使用または汚水を吸引した場合は、使用後に必ず水・汚水を捨て、キレイな水で洗い流してください。

- 1** 上部カバーを外し、水・汚水を捨てます。



- 2** 軽く水洗いします。タンク内側に汚れが付着している場合は、柔らかいスポンジ等で軽くこすり汚れを落としてから、水洗いします。

⚠注意

タンク内を洗った場合は、よく乾燥させてください。カビの発生の原因になります。

👉ポイント 自動停止

タンク内の水や汚水がいっぱいになると、自動的に停止します。
タンク内の水・汚水を捨ててください。

本体

使用後は、本体を乾いた柔らかい布で拭いてください。

注意

上部カバー部は絶対に水洗いしないでください。
故障の原因になります。

ノズル

使用後は、詰まりや割れを確認し、乾いた柔らかい布で拭いてください。

汚れがひどい場合は、水洗いをします。

注意

ノズルを洗った場合は、よく乾燥させてください。カビの発生の原因になります。

ホース・延長パイプ

使用後は、詰まりや割れを確認し、表面は乾いた柔らかい布で拭いてください。

汚水を吸取った後は、ホース内・パイプ内が汚れています。そのまま放置しますと、ホースの劣化やパイプの腐食、悪臭の原因になります。

必ず、水で洗い流してください。

注意

ホース・延長パイプを洗った場合は、よく乾燥させてください。カビの発生の原因になります。

本規約は、ハイガー(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヵ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1)純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2)保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3)一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4)取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5)示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6)弊社が認めていない改造をされたもの
- (7)地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8)注意を怠った結果に起きたもの
- (9)薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10)使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
 - (11)機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
 - (12)弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
 - (13)使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャープイン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
- (14)保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15)商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡ください。
またはお近くの修理協力店へご連絡をしてください。
症状・使用状況を伺い、手順方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
- ・無在庫転売者(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
 2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
 3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
 4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
 5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。